

事故をなくす安全衛生活動

コース番号：038-023

2026年

開催日時：10月 6日(火) 募集締切：9月24日(木)
9:30～16:30 (6時間)受講料
3,300円(税込)

開催場所：ポリテクセンター山梨(裏図参照)

定員：16名程度(先着順)

推奨者：初任層～中堅層

コースの狙い

職場の安全衛生の改善をめざして、安全衛生の要点や企業における安全衛生活動、リスクを低減するための点検手法についての知識を習得します。

主な訓練内容

◎ 安全衛生概論

(1) 企業における安全衛生活動の意義

安全の定義や安全の必要性、安全衛生の問題解決基本ステップなどを解説し、安全衛生に取り組むことの重要性を再確認する。

(2) 安全衛生活動の棚卸

【演習1】労働災害の発生事例研究と受講者が経験した労働災害事例からの考察

過去の業務経験や安全衛生知識を振り返り、個人で棚卸し後、グループ共有を通じて他者の経験から学び、安全意識と行動改善につなげます。

◎ 企業における安全衛生活動

(1) 安全衛生活動における社員の役割

安全に業務を遂行するために必要な社員の役割は何か、目指すべき姿とはどのようなものかを解説します。

(2) 客観的な職場巡回の進め方

安全衛生パトロールの目的や種類、職場での具体的なチェック方法、従業員への問いかけ方法などを解説し、その活動を継続することの重要性を確認します。

◎ 点検による管理

(1) ヒヤリ・ハットと危険予知

【演習2】職場におけるヒヤリ・ハット事例からの考察

危険予知活動とヒヤリ・ハットを解説し、職場の危険源である不安全状態や不安全行動を見つける力を高めることと、その活動を継続することの重要性を確認する。チームワークが求められる背景などを確認したうえで、多様化するチームで仕事を進める際のポイントを確認します。

(2) ヒューマンエラーと安全衛生心理学

【演習3】ヒューマンエラー事例からの考察

なぜ「わかっているのに」ルールを破ってしまうのか？現場リーダーが抱えるジレンマを心理学的に解明します。ヒューマンエラーの背景にある人間の心を理解し、チームの安全意識を高めるための実践的な行動を学びます。

(3) 周囲とのコミュニケーションによる役割の確認

【演習4】コーチングとティーチングの体験

安全な職場づくりに必要なコミュニケーションの方法(挨拶/声かけ/話し合いの場づくり等)を解説し、風通しの良い職場を作るための方法や役割を理解する。

◎ 訓練内容のココがポイント！

- ・企業における安全衛生活動の意義や目的を再確認、組織として安全衛生に関する意識を高め、危険予知活動として安全衛生パトロール、チェックリスト等の実施方法を学習するとともにリスクアセスメントの実施手順を習得します。
 - ・具体的な労働災害の発生事例研究を通じて、労働災害による様々な損失を知り、自職場におけるヒヤリ・ハット事象を洗い出し、注意喚起を促します。
 - ・受講する初任・中堅層が現場の安全衛生活動をリードしていけるよう、接し方や指導方法の向上に寄与できる訓練の進め方をします。
 - ・講師は製造現場での経験が長く、様々な労働災害対策に経験値もあるので数多くの労働災害の発生事例を題材にして、受講者同士の議論を活発化させ、飽きさせずに受講者の意見を引き出しながら研修を進めていきます。
- 職場のリーダー、中堅クラスが果たすべき役割の全体像を学び、役割を果たすために必要な考え方とスキルについてポイントを絞って学習します。演習やロールプレイングを多く取り、実践的に学びます。

実施機関&講師

学校法人 産業能率大学

総合研究所兼任講師

長田 智司氏



講師Profile

製造現場での長年の経験と、安全衛生分野での豊富な研修登壇実績を生かし、実務に即してわかりやすく指導。労働災害事例や演習に加え、受講者の意見を引き出しながら、現場力向上と安全意識の定着につなげます。

お申し込みは

※ 当HP内「令和8年度オープンコース第2弾受講者募集のご案内」の下部に、Excel形式で直接必要事項が入力できる「オープンコース受講申込書」があります。